

霧島市商工会

平成29年度第2回 霧島市の経済動向調査結果概要

「霧島市の経済動向アンケート調査」を実施し、結果を取りまとめましたので、お知らせいたします。

概況（食品関連産業）	
業況 D.I.	<p>○今期の業況 D.I.は▲30となり、前期（▲22）より8割悪化した。 ⇒荒茶は改善しプラス圏に浮上したものの、黒酢、菓子が悪化し、その他が大幅に悪化した。</p> <p>○来期の業況見通し D.I.は▲29となり、今期（▲30）とほぼ横ばいとなる見通し。 ⇒品目別にみると、菓子、その他が改善する一方、荒茶が悪化し、黒酢は大幅に悪化する見通し。</p>
売上高 D.I.	<p>○今期は▲27となり、前期（▲16）よりも低下した。 ⇒品目別にみると、黒酢が大幅に低下し、荒茶、菓子、その他が低下するなど、全品目で低下した。</p> <p>○来期は▲19となり、今期（▲27）よりも改善する見通し。 ⇒品目別にみると、黒酢が悪化する一方、荒茶がやや改善し、その他が改善、菓子が大幅に改善する見通し。</p>
製品・商品在庫 D.I.	<p>○平成29年9月末の製品・商品在庫の過不足感は、「過剰」4%、「適正」79%、「不足」17%で D.I.は▲13となり、前期（▲11）よりもやや低下した。 ⇒品目別にみると、菓子、荒茶が増加した一方、黒酢、その他が低下した。</p>
損益 D.I.	<p>○今期は▲25となり、前期（▲16）よりも悪化した。 ⇒品目別にみると、荒茶が改善した一方、菓子、その他が悪化し、黒酢が大幅に悪化した。</p> <p>○来期は▲21となり、今期（▲25）よりも改善する見通し。 ⇒品目別にみると、荒茶が悪化する一方、黒酢、その他が改善し、菓子が大幅に改善する見通し。</p>
販売価格 D.I.	<p>○今期は5となり、前期（▲4）から上昇した。 ⇒荒茶が大幅に上昇し、菓子が上昇した一方、黒酢が横ばいで推移し、その他が低下した。</p> <p>○来期は1となり、今期（5）よりも低下する見通し。 ⇒品目別にみると、黒酢、菓子、その他の3品目が横ばいとなる一方、荒茶が低下する見通し。</p>
仕入価格 D.I.	<p>○今期は42となり、前期（36）よりも上昇した。 ⇒品目別にみると、その他が低下し、荒茶がほぼ横ばいとなった一方、黒酢、菓子の2品目が大幅に上昇した。</p> <p>○来期は37となり、今期（42）から低下する見通し。 ⇒品目別にみると、その他がやや上昇し、黒酢が横ばいとなる一方、荒茶が低下、菓子が大幅に低下する見通し。</p>
資金繰り D.I.	<p>○今期は▲29となり、前期（▲22）よりも悪化した。 ⇒品目別にみると、荒茶が改善した一方、黒酢、菓子、その他の3品目が悪化した。</p> <p>○来期は▲27となり、今期（▲29）よりもやや改善する見通し。 ⇒品目別にみると、荒茶が悪化し、黒酢が横ばいで推移する一方、菓子、その他の2品目が改善する見通し。</p>
雇用人員 D.I.	<p>○今期は▲35となり、前期（▲30）よりも悪化した。 ⇒品目別にみると、黒酢が大幅に改善した一方、荒茶、菓子、その他の3品目で悪化し、人手不足感がさらに高まっている。</p> <p>○来期は▲29となり、今期（▲35）よりも改善する見通し。 ⇒品目別にみると、荒茶は悪化し、黒酢、菓子が横ばいで推移する一方、その他が改善する見通し。</p>

図表1 霧島市の経済動向調査結果（食品関連産業）

	平成28年10月～29年3月期				平成29年4月～9月期				平成29年10月～平成30年3月期				今期比
	前期実績				今期実績				来期見通し				
	良い増加 (A)	普通同程度 (B)	悪い減少 (C)	D.I. (A)-(C)	良い増加 (A)	普通同程度 (B)	悪い減少 (C)	D.I. (A)-(C)	良い増加 (A)	普通同程度 (B)	悪い減少 (C)	D.I. (A)-(C)	
自社の業況	11	56	33	▲22	7	56	37	▲30	7	57	36	▲29	↑
黒酢	0	67	33	▲33	0	56	44	▲44	0	33	67	▲67	↓
荒茶	12	70	18	▲6	24	64	12	12	19	68	13	6	↓
菓子(かるかん等)	13	37	50	▲37	0	46	54	▲54	8	46	46	▲38	↑
その他	13	55	32	▲19	3	55	42	▲39	3	62	35	▲32	↑
売上高	17	50	33	▲16	13	47	40	▲27	14	53	33	▲19	↑
黒酢	0	100	0	0	0	78	22	▲22	0	67	33	▲33	↓
荒茶	41	47	12	29	29	53	18	11	19	75	6	13	↑
菓子(かるかん等)	13	31	56	▲43	8	30	62	▲54	15	39	46	▲31	↑
その他	10	50	40	▲30	10	42	48	▲38	16	42	42	▲26	↑
製品・商品在庫 (適正水準比)	過剰 7	適正 75	不足 18	▲11	過剰 4	適正 79	不足 17	▲13					
黒酢	0	100	0	0	0	89	11	▲11					
荒茶	6	75	19	▲13	12	76	12	0					
菓子(かるかん等)	0	69	31	▲31	0	77	23	▲23					
その他	13	74	13	0	3	78	19	▲16					
損益	好転 11	横ばい 62	悪化 27	▲16	好転 9	横ばい 57	悪化 34	▲25	好転 9	横ばい 61	悪化 30	▲21	↑
黒酢	0	100	0	0	0	67	33	▲33	0	78	22	▲22	↑
荒茶	22	67	11	11	24	70	6	18	12	76	12	0	↓
菓子(かるかん等)	13	43	44	▲31	15	31	54	▲39	23	46	31	▲8	↑
その他	7	60	33	▲26	0	58	42	▲42	3	55	42	▲39	↑
販売価格	上昇 7	横ばい 82	低下 11	▲4	上昇 9	横ばい 87	低下 4	5	上昇 7	横ばい 87	低下 6	1	↓
黒酢	0	100	0	0	0	100	0	0	0	100	0	0	→
荒茶	12	76	12	0	24	76	0	24	20	73	7	13	↓
菓子(かるかん等)	6	69	25	▲19	8	84	8	0	8	84	8	0	→
その他	6	88	6	0	3	90	7	▲4	3	90	7	▲4	→
仕入価格	上昇 39	横ばい 58	低下 3	36	上昇 45	横ばい 52	低下 3	42	上昇 42	横ばい 53	低下 5	37	↓
黒酢	17	83	0	17	56	44	0	56	56	44	0	56	→
荒茶	19	81	0	19	24	70	6	18	20	73	7	13	↓
菓子(かるかん等)	50	37	13	37	69	23	8	61	54	31	15	39	↓
その他	48	52	0	48	43	57	0	43	45	55	0	45	↑
資金繰り	楽 4	普通 70	窮屈 26	▲22	楽 6	普通 59	窮屈 35	▲29	楽 3	普通 67	窮屈 30	▲27	↑
黒酢	0	83	17	▲17	0	67	33	▲33	0	67	33	▲33	→
荒茶	0	81	19	▲19	18	58	24	▲6	7	66	27	▲20	↓
菓子(かるかん等)	13	62	25	▲12	8	54	38	▲30	8	69	23	▲15	↓
その他	3	65	32	▲29	0	60	40	▲40	0	67	33	▲33	↑
雇用人員	過剰 3	適正 64	不足 33	▲30	過剰 6	適正 53	不足 41	▲35	過剰 6	適正 59	不足 35	▲29	↑
黒酢	0	67	33	▲33	22	45	33	▲11	22	45	33	▲11	→
荒茶	0	71	29	▲29	0	53	47	▲47	0	50	50	▲50	↓
菓子(かるかん等)	13	54	33	▲20	8	61	31	▲23	8	61	31	▲23	→
その他	0	65	35	▲35	3	54	43	▲40	3	67	30	▲27	↑

概況（観光関連産業）

業況 D.I.	<p>○今期の業況 D.I.は▲21となり、前期(▲19)よりもやや低下した。 ⇒業種別にみると、飲食業が改善した一方、宿泊業、旅客運送業、その他が悪化し、浴場業が大幅に悪化した。</p> <p>○来期の業況見通し D.I.は▲26となり、今期(▲21)よりも悪化する見通し。 ⇒業種別にみると、浴場業が大幅に改善し、旅客運送業が改善する一方、宿泊業、飲食業、その他の3業種で悪化する見通し。</p>
売上高 D.I.	<p>○今期は▲9となり、前期(▲13)よりも改善した。 ⇒業種別にみると、宿泊業、その他が横ばいで推移した一方、旅客運送業がプラス圏に浮上し、浴場業、飲食業が改善した。</p> <p>○来期は▲18となり、今期(▲9)よりも悪化する見通し。 ⇒業種別にみると、浴場業が改善する一方、宿泊業、飲食業、旅客運送業、その他の4業種が悪化する見通し。</p>
製品・商品在庫 D.I.	<p>○平成29年9月末の製品・商品在庫の過不足感は、「過剰」4%、「適正」86%、「不足」10%で D.I.は▲6となり前期(▲10)に比べ改善した。 ⇒業種別にみると、飲食業、その他が増加した一方、宿泊業がほぼ横ばい、浴場業、旅客運送業が横ばいで、適正水準となった。</p>
損益 D.I.	<p>○今期は▲11と、前期(▲18)よりも改善した。 ⇒業種別にみると、浴場業が横ばいで推移した一方、宿泊業、飲食業、その他が改善し、旅客運送業が大幅に改善した。</p> <p>○来期は▲16となり、今期(▲11)よりも悪化する見通し。 ⇒業種別にみると、浴場業が大幅に改善し、その他が改善する一方、宿泊業、飲食業が悪化し、旅客運送業が大幅に悪化する見通し。</p>
販売価格 D.I.	<p>○今期は2となり、前期(▲2)から改善した。 ⇒業種別にみると、旅客運送業が横ばいで推移し、飲食業がやや低下、浴場業が低下した。一方、その他が大きく改善し、宿泊業が改善した。</p> <p>○来期は0となり、今期(2)よりもやや低下する見通し。 ⇒業種別にみると、浴場業、飲食業、旅客運送業、その他の4業種が横ばいとなる一方、宿泊業は低下する見通し。</p>
仕入価格 D.I.	<p>○今期は50と、前期(39)よりも上昇した。 ⇒業種別にみると、浴場業が低下した一方、宿泊業、飲食業、その他が上昇し、旅客運送業が大幅に上昇した。</p> <p>○来期は41となり、今期(50)よりも低下する見通し。 ⇒旅客運送業が上昇する一方、浴場業が横ばいで推移し、宿泊業、飲食業、その他が低下する見通し。</p>
資金繰り D.I.	<p>○今期は▲27となり、前期(▲24)よりも悪化した。 ⇒業種別にみると、旅客運送業が大幅に改善し、飲食業が横ばいで推移した一方、浴場業、宿泊業、その他が大幅に悪化した。</p> <p>○来期は▲25となり、今期(▲27)よりもやや改善する見通し。 ⇒業種別にみると、宿泊業が低下し、旅客運送業が横ばいで推移する一方、飲食業がやや改善し、浴場業、その他が改善する見通し。</p>
雇用人員 D.I.	<p>○今期は▲37となり、前期(▲25)よりも悪化した。 ⇒業種別にみると、浴場業が大幅に悪化し、飲食業、その他が悪化、宿泊業、旅客運送業がやや悪化するなど、全業種で悪化し人手不足感が極めて高くなっている。</p> <p>○来期は▲39となり、今期(▲37)よりもやや悪化する見通し。 ⇒業種別にみると、その他が改善し、浴場業、飲食業が横ばい、旅客運送業が横ばい圏となる一方、宿泊業が悪化する見通し。</p>

図表2 霧島市の経済動向調査結果（観光関連産業）

	平成28年10月～29年3月期				平成29年4月～9月期				平成29年10月～平成30年3月期				今期比
	前期実績				今期実績				来期見通し				
	良い増加 (A)	普通同程度 (B)	悪い減少 (C)	D.I. (A)-(C)	良い増加 (A)	普通同程度 (B)	悪い減少 (C)	D.I. (A)-(C)	良い増加 (A)	普通同程度 (B)	悪い減少 (C)	D.I. (A)-(C)	
自社の業況	9	63	28	▲19	9	61	30	▲21	8	58	34	▲26	↓
宿泊業	10	66	24	▲14	12	59	29	▲17	15	47	38	▲23	↓
浴場業	22	67	11	▲11	0	83	17	▲17	17	83	0	▲17	↑
飲食業	5	64	31	▲26	10	60	30	▲20	6	59	35	▲29	↓
旅客運送業	0	86	14	▲14	0	67	33	▲33	0	78	22	▲22	↑
その他	20	47	33	▲13	7	60	33	▲26	0	67	33	▲33	↓
売上高	14	59	27	▲13	19	53	28	▲9	14	54	32	▲18	↓
宿泊業	25	50	25	▲0	26	48	26	▲0	18	47	35	▲17	↓
浴場業	22	67	11	▲11	33	50	17	▲16	33	67	0	▲33	↑
飲食業	11	57	32	▲21	15	53	32	▲17	13	52	35	▲22	↓
旅客運送業	0	86	14	▲14	22	67	11	▲11	11	78	11	▲0	↓
その他	13	67	20	▲7	20	53	27	▲7	7	60	33	▲26	↓
製品・商品在庫 (適正水準比)	過剰 3	適正 84	不足 13	▲10	過剰 4	適正 86	不足 10	▲6					
宿泊業	0	95	5	▲5	0	96	4	▲4					
浴場業	0	100	0	▲0	0	100	0	▲0					
飲食業	4	81	15	▲11	5	83	12	▲7					
旅客運送業	0	100	0	▲0	0	100	0	▲0					
その他	0	85	15	▲15	8	77	15	▲7					
損益	好転 10	横ばい 62	悪化 28	▲18	好転 13	横ばい 63	悪化 24	▲11	好転 11	横ばい 62	悪化 27	▲16	↓
宿泊業	14	61	25	▲11	18	56	26	▲8	15	50	35	▲20	↓
浴場業	22	56	22	▲0	17	66	17	▲0	33	67	0	▲33	↑
飲食業	6	64	30	▲24	10	64	26	▲16	8	62	30	▲22	↓
旅客運送業	0	86	14	▲14	22	67	11	▲11	0	89	11	▲11	↓
その他	20	47	33	▲13	13	67	20	▲7	20	67	13	▲7	↑
販売価格	上昇 5	横ばい 88	低下 7	▲2	上昇 10	横ばい 82	低下 8	▲2	上昇 8	横ばい 84	低下 8	▲0	↓
宿泊業	4	84	12	▲8	16	75	9	▲7	9	82	9	▲0	↓
浴場業	17	83	0	▲17	0	100	0	▲0	0	100	0	▲0	→
飲食業	5	91	4	▲1	8	83	9	▲1	8	83	9	▲1	→
旅客運送業	17	66	17	▲0	13	74	13	▲0	13	74	13	▲0	→
その他	0	87	13	▲13	7	93	0	▲7	7	93	0	▲7	→
仕入価格	上昇 41	横ばい 57	低下 2	▲39	上昇 52	横ばい 46	低下 2	▲50	上昇 45	横ばい 51	低下 4	▲41	↓
宿泊業	31	69	0	▲31	35	65	0	▲35	23	74	3	▲20	↓
浴場業	17	83	0	▲17	0	100	0	▲0	0	100	0	▲0	→
飲食業	49	49	2	▲47	63	34	3	▲60	56	40	4	▲52	↓
旅客運送業	17	83	0	▲17	50	50	0	▲50	63	37	0	▲63	↑
その他	25	75	0	▲25	40	53	7	▲33	36	57	7	▲29	↓
資金繰り	楽 5	普通 66	窮屈 29	▲24	楽 1	普通 71	窮屈 28	▲27	楽 1	普通 73	窮屈 26	▲25	↑
宿泊業	11	64	25	▲14	3	71	26	▲23	3	68	29	▲26	↓
浴場業	11	78	11	▲0	0	83	17	▲17	0	100	0	▲0	↑
飲食業	3	64	33	▲30	1	68	31	▲30	0	72	28	▲28	↑
旅客運送業	0	43	57	▲57	0	78	22	▲22	0	78	22	▲22	→
その他	7	80	13	▲6	0	73	27	▲27	0	80	20	▲20	↑
雇用人員	過剰 3	適正 69	不足 28	▲25	過剰 1	適正 61	不足 38	▲37	過剰 2	適正 57	不足 41	▲39	↓
宿泊業	0	66	34	▲34	0	64	36	▲36	0	55	45	▲45	↓
浴場業	11	56	33	▲22	0	40	60	▲60	0	40	60	▲60	→
飲食業	4	77	19	▲15	1	69	30	▲29	3	65	32	▲29	→
旅客運送業	0	14	86	▲86	0	12	88	▲88	0	11	89	▲89	↓
その他	0	67	33	▲33	7	46	47	▲40	7	53	40	▲33	↑

【調査概要】

(1) 調査対象

霧島市商工会会員のうち食品関連産業事業者及び観光関連産業事業者。

(2) 調査時期

平成29年11月

(3) 有効回収数

	合計	地区別回答数					
		溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
食品関連産業	70	18	8	5	10	15	14
観光関連産業	146	22	6	39	22	48	9

(4) 対象期間

	時 期
前 期	平成28年10月～平成29年3月期
今 期	平成29年 4月～9月期
来 期	平成29年10月～平成30年3月期

(5) 質問項目

業況、売上高、在庫、仕入単価、資金繰り、雇用人員、損益等

《D.I.について》

D.I.とは Diffusion Index の略で、企業の業況マインドや製品の在庫、雇用人員の過不足等について、回答企業の判断を指数化したものです。内閣府が発表する「景気動向指数」や、日本銀行の「短観」等で用いられており、各種研究機関等が実施する調査においても、自社の業況や売上・完工高、資金繰りや雇用人員等を指数化し調査しています。

算出にあたっては、例えば、業況の見通しについて「良い・普通・悪い」と選択肢があった場合、「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を差し引いて求めます。業況見通しD.I.は現状判断、景気の予測等に用いられています。